

令和7年1月27日

妙高市立新井北小学校



つよく やさしく かしこく

JRL <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/araiki-s/otayori/>



## 選択の自由と責任の重さと

校長 五十嵐 悟

新年あけましておめでとうございます。

能登半島地震で始まった昨年とは異なり、今年の正月は穏やかに過ぎました。冬休みは特に事故や怪我等の報告もなく、子供たちも楽しい冬休みを過ごせたようでほっとしています。さて、3学期は1年間のまとめの時期です。学習を積み重ね、自分が成長したところを自覚するとともに、上級生の姿から次年度の自分の目標をしっかりイメージすることが大切です。1月は「行く」、2月は「逃げる」3月「去る」というように、3学期はあっという間に時間が過ぎていきます。卒業を迎える6年生だけでなく、全校のみんなが1分1秒を大切に過ごしてほしいと願っています。

ところで、妙高市では、平成20年度より「妙高市の小・中学生に、原則として携帯電話を持たせない」と提言してきました。しかし、コロナ禍をきっかけとして、児童1人につき1台のタブレットが支給され、学習でタブレットの使用が日常化しました。それに伴い、現状の実態に即した形での提言に見直すべきとの考えが出され、検討の結果、今後の方向性として次のような案が出されています。

- ・各家庭において「必要だ」と判断する場合は、使い方に関するきまりをそれぞれが設定し、保護者の適切な管理の下で、スマホを所持するようにする。
- ・学校へのスマホの持ち込みについては、これまで同様、原則禁止とする。
- ・各家庭で持たせているスマホやインターネット機器を介して発生した様々なトラブルは各家庭の責任において解決を図る。ただし、各家庭で解決することが難しい問題（いじめを含む友人間のトラブルなど）が発生した場合は、必要に応じて学校や警察との連携協力を行って問題解決を目指す。

スマホを持たせることで、確実にネットトラブルに遭遇する危険度は高まります。しかし、子供はいずれ人生のどこかでスマホを手にし、トラブルやそれに類するものに遭遇するでしょう。保護者が子供に寄り添い手厚く援助できる今のうちに、深刻な事態になる前に保護者が適切に助言をし、子供と一緒に問題を解決することで、子供はいずれ自らの力で危険を回避したり対処したりできるようになると思います。

スマホだけでなく、時代の移り変わりや価値観の多様化に伴い、学校や行政が一律にルールを設定して管理するのではなく、個々の保護者の皆様に判断を任せることが多くなっています。その結果、**選択の自由と同時に選択に伴う責任も大きくなっています。**

先日のPTA総務委員会で、市の提言について話題にした際、我が子のトラブルについてご苦労された貴重な実体験のお話を伺うことができました。保護者の方の中には、ご自身やご家族の体験を通して、様々なアイデアや家庭のルール作りのノウハウをお持ちの方が他にもいらっしゃると思います。ぜひどこかの機会にこれらの貴重なお話を共有できたらと考えています。

いずれにしても、自己決定には自己責任が伴います。その責任の重さに判断を躊躇することもあると思いますが、そういった時こそ、失敗しないための知恵をみんなで出し合い、思いを共有しながら進めていくことが重要であると思います。

## 第2回学校評価の結果について

「あてはまる」「どちらからかといえはあてはまる」の割合(%)

12月に行いました学校評価アンケートの結果をお知らせします。

保護者アンケート		肯定評価	前回比
1	お子さんは、学習したことを理解している。	92.6	-2.0
2	お子さんは、家で音読に取り組んでいる。	59.1	-18.4
3	お子さんは、生活科や総合的な学習の時間に体験したことや学習したことについて、話している。	88.2	-4.3
4	お子さんは、時間や内容を決めて学習に取り組んでいる。	82.7	-4.4
5	お子さんは、自分の考えを分かりやすく伝えようとしている。	83.3	-7.1
6	お子さんは、楽しく学校に通っている。	96.6	-1.3
7	お子さんは、地域や家庭で元気よくあいさつをしている。	87.2	3.3
8	家庭では、お子さんが地域や家庭であいさつするよう働きかけている。	98.6	-1.4
9	お子さんは、友だちと仲よくしている。	97.0	-0.8
10	学校は、いじめの未然防止や解消を目指して、努力している。	98.5	0.6
11	お子さんは、進んで運動に親しんだり、体を動かして遊んだりしている。	83.2	-8.2
12	お子さんは、毎日、朝ごはんをバランスよく食べている。	84.3	-3.8
13	お子さんは、ご家庭で決めた布団に入る時刻を守っている。 (妙高市全体で目安としているのは、低学年…9時、中学年…9時30分、高学年…10時まで)	81.2	1.6
14	家庭では、「安全にネットを使うためのわたしの約束」を守って、テレビやゲーム、ネット等利用するよう働きかけている。	89.1	6.3
15	学校職員は、丁寧な対応をしている。	98.5	-0.4

児童アンケート		肯定評価	前回比
1	授業が分かる。	94.1	0.1
2	音読に毎日取り組んでいる。	59.9	-15.1
3	生活科や総合的な学習の時間に、進んで取り組んでいる。	96.5	-0.3
4	自分でやることを決めて学習に取り組んでいる。	88.1	-3.0
5	自分の思いや考えを書いたり話したりしている。	87.2	-0.3
6	学校生活は楽しい。	95.6	0.5
7	自分からあいさつをしている。	94.6	-0.6
8	友だちと仲よく活動している。	96.6	-1.8
9	学校のきまりを守って生活している。	93.0	-5.3
10	好きなことや得意なことがある。	100.0	2.1
11	体育や休み時間などに、体を動かすことが好きである。	91.1	0.8
12	体育の学習では、目標をもって運動したり、できるようになったことや次がんばりたいことを振り返ったりしている。	94.5	2.1
13	毎日、朝ごはんをしっかり食べている。	93.1	-0.8
14	おうちの人と決めた時刻を守ってふとんに入っている。 (妙高市全体で目安としているのは、低学年…9時、中学年…9時30分、高学年…10時まで)	76.7	-7.1
15	「安全にネットを使うためのわたしの約束」を守って、テレビやゲーム、ネットなどを利用している。	88.1	0.2

# 結果を受けての今後の取組

■課題についての改善策 □継続取組

## 「かしこく・かんがえる力」

\*課題：理解につながる学習方法を選ぶことが苦手である。

- 日々の家庭学習において、意識して教科書や課題を声に出して読みます。(音読)
- 授業の中で、学習内容や方法を自己選択する場を設けます。
- 1年のまとめの学習として、自分の思いや考えを表出する活動を効果的に行います。

## 「やさしく・かんじる力」

\*課題：全体的に肯定評価が高いが、個に応じた支援が必要である。

- 全職員で児童の表情や言動に気を配り、一人一人に寄り添った支援を心がけます。
- 仲間づくりの活動の場やよさを認め合う場を設定します。
- あいさつ運動を実施し、よりよいあいさつの習慣化を図ります。

## 「つよく・やりぬく力」

\*課題：おうちの人と決めた就寝時刻、ネットの約束が守られない。

- 授業や体育的行事に向けて、めあての設定や振り返りをしっかりと行います。
- 引き続き、生活チェック週間と「安全にネットを使うための約束」を活用します。
- メディアの利用や望ましい生活習慣の仕方について学ぶ場を設けます。

## <自由記述>

- 総合的な学習の時間などで校外学習へ行くことが多いが、国語や算数など他の教科の時間数が足りているのか不安。
  - ⇒ どの学年も各教科の時数が足りているか確認しながら学習を進めています。また、総合的な学習の時間の中では、国語や算数といった他教科の要素も入っていますので、活動を通してより応用的な学びを得る機会ともなっています。
- お弁当の日を見直してほしい。親の都合や体調に関係なく日にちが決められていて、平日に朝早くから子どもと一緒に作業するのは親にとって負担が大きい。
  - ⇒ 現在、市と相談して来年度の方向性について検討中です。
- エアコンの完備がしっかりとしているので、夏、冬の長期休みが短くてもいい。
  - ⇒ 長期休業については、学校の教育活動ではできない豊かな体験を得る機会であり、長期の家族旅行など家族の計画をたてやすいといったメリットがあります。また、長期休業を短くすると、相対的に1日の学習時間が減り、下校時刻が早まることとなります。様々なご家庭の事情があるため、時間をかけて検討していく必要があります。
- 牛乳のストローを分別してはどうか。
  - ⇒ 以前、各校で分別のために牛乳パックやストローを洗浄したり乾かしたりしていた時期がありました。時間や手間がかかりすぎたため取りやめた経緯があります。牛乳に敏感な児童も数名おり、現時点では現状維持とさせていただきます。
- 夏休みのコンクール出品は、全てをなくすのではなく、コンクールを精選し、やるやらないを選択できるようにするとよい。
  - ⇒ 今年度の様子を踏まえ、検討していきます。

# お子さんのゲームのやりすぎにお悩みの方へ

個別面談の際に、「帰宅後、ゲーム等をして過ごす時間が多い。」「夜遅くまでゲーム等をしている。」等の心配の声が保護者から寄せられることがあります。

これに関連して、独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター 佐久間寛之院長が、『新潟県医師会報 NO.896 県医よろずQ&A 子どものゲーム障害』の中で、治療と予防に関して以下のように述べられていますので紹介します。

## (1) 治療に関して

「私たちは「ゲームをやりすぎる事」が問題なのではなく「現実世界に価値を感じられないこと」が問題と考えます。ですので、現実での対人関係のあたたかさ、人といっしょに過ごす安心感、安全感などを治療を通じて感じていただきたい」

## (2) 予防に関して

「親子で作ったルールは親子で守る必要があります。子どもにはルールを課しておきながら、親は食事の間もスマホ、休日もスマホごんまいではうまく行かないのは当然」

長時間ゲームに没頭することは、現実と向き合いたくない理由が背景にあり、そこを理解しようと努めること、ゲームより確かな人とのつながりを感じさせることが大切であること、また、家庭で決めたルールは、まずは大人が率先して守ることが重要とのことです。お子さんがゲーム中毒にならないよう、これからも目配りをお願いします。

## 2月の行事予定

日	曜	行事	日	曜	行事
1	土		15	土	
2	日		16	日	
3	月	学力検査 2・3限(算・社)	17	月	スクールカウンセラー来校 栄養教諭来校
4	火	学力検査 2・3限(国・理)	18	火	5年調理実習(JAさんと) 学校運営協議会④
5	水	中学年スキー教室 栄養教諭来校	19	水	新井中入学説明会 14:55~16:00頃 低学年雪遊び教室
6	木	情報教育推進員来校	20	木	委員会引継ぎ
7	金	新PTA 専門部選出会 PTA 反省会	21	金	PTA 新旧引継ぎ会
8	土		22	土	
9	日		23	日	天皇誕生日
10	月	安全点検 街頭指導	24	月	振替休日
11	火	建国記念の日	25	火	
12	水	移行学級	26	水	
13	木	児童総会	27	木	
14	金		28	金	繰り上げ5限



寒くても、昼休みは  
元気いっぱい!